

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ		時期		時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		2年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	地域・在宅看護における看護過程のプロセスについて理解することにより、対象の状況に応じた看護を学ぶ。また、演習を通して、地域で療養する対象の暮らしを支える看護技術や医療管理のための医療技術と看護について理解し、地域・在宅看護における看護技術の実践能力の向上を図ることを目的に当該科目を設定した。					
学習目標	1 地域・在宅看護における看護過程の特徴を理解する 2 在宅で求められる看護技術を理解する 3 在宅における医療管理を要する療養者への看護を理解する 4 事例を用いて地域・在宅看護過程の展開方法を理解する					
修得する看護技術項目	No. 5 経管栄養法による流動食の注入 No. 6 経管胃チューブの挿入 No. 11 摘便 No. 40 座薬の投与					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1	地域・在宅看護過程の展開	1 在宅における看護過程の展開方法 (1) 地域・在宅看護過程の特徴 (2) 情報収集とアセスメント (3) 目標の設定・計画 (4) 実施と評価				講義
2~9	暮らしを支える看護技術	1 在宅で求められる看護技術 (1) 呼吸に関する看護技術 (2) 食生活・嚥下に関する看護技術 (3) 排泄に関する看護技術 (4) 移動・移乗に関する看護技術 (5) 清潔に関する看護技術 2 在宅における医療管理を要する療養者への看護 (1) 在宅経管栄養法 (2) 在宅中心静脈栄養法				講義 演習 No. 5 No. 6 No. 11 No. 40
10~14	事例で学ぶ地域・在宅看護過程の展開	1 事例演習				講義 演習
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤		河原 加代子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践		河原 加代子 他		医学書院	
	写真でわかる訪問看護アドバンス		押川 真喜子 監修		インターメディカ	
参考図書・資料等						

評価方法

筆記試験、課題レポート、演習、出席状況などから総合的に判断する